

(第一紙) T23p97b03~

- 1
2 十誦律三誦¹卷第十四² 十四^{3,4,5}
- 3 仏在俱舍⁶弥国爾時長老闍那取⁷有蟲水用⁸
- 4 諸比丘語闍那言莫取⁹有蟲水用¹⁰多少蟲□
- 5 闍那言我用水不用蟲諸比「」
- 6 蟲不答言知有¹¹若知有¹²者何以用答言我□
- 7 用水不用蟲爾時¹³有諸⁴比丘少欲知足行頭
- 8 陀¹⁵種種因緣呵¹⁶責云何名比丘於衆生¹⁷無慈¹⁸
- 9 愍心種種¹⁹呵²⁰已向仏広説仏以是事集比丘
- 10 僧知而故問闍那汝実作是事不答言実作
- 11 世尊仏以種種因緣呵²¹責車匿²²云何名比丘
- 12 知水有蟲故²³取用於衆生中無慈²⁴愍心種種²⁵
- 13 呵²⁶已語諸比丘以十利故与²⁷比丘結戒從今
- 14 是戒応如是説若比丘知水有蟲取用²⁸波逸

1 〔三誦〕－【大】 〔三〕の右傍に「第」（朱書）あり。大正蔵の校注は、（律十（第三誦）〈聖〉〈聖乙〉*）となっている。

2 〔第三誦之一〕＋【大】 大正蔵の校注は、（〔第三誦之一〕－〈聖〉〈聖乙〉*）となっている。

3 〔十四〕－【大】 大正蔵に校注なし。

4 〔後秦北印度三蔵弗若多羅訳〕＋【大】

5 〔九十波逸提之六〕＋【大】

6 俱舍＝拘睺【大】

7 取＝用【大】 大正蔵の校注は、（用＝取〈聖〉〈聖乙〉*）となっている。SATの校注の内容が正確ではない。

8 〔用〕－【大】

9 取＝用【大】

10 〔用〕－【大】

11 〔有〕－【大】

12 〔有〕－【大】

13 爾時＝是中【大】

14 〔諸〕－【大】

15 〔聞是事心不喜〕＋【大】

16 呵＝訶【大】 大正蔵に校注なし。

17 〔中〕＋【大】 大正蔵に校注なし。

18 慈＝憐【大】 大正蔵の校注は、（憐愍＝慈愍〈聖〉〈聖乙〉*）となっている。

19 〔因縁〕＋【大】 大正蔵の校注は、（〔因縁〕－〈聖〉〈聖乙〉*）となっている。

20 呵＝訶【大】 大正蔵に校注なし。

21 呵＝訶【大】 大正蔵に校注なし。

22 車匿＝闍那【大】 大正蔵の校注の内容（闍那＝事匿〈聖〉〈聖乙〉）が正確ではない。

23 〔自〕＋【大】

24 慈＝憐【大】

25 〔因縁〕＋【大】

26 呵＝訶【大】 大正蔵に校注なし。

27 〔諸〕＋【大】

28 取用＝用者【大】 大正蔵の校注は、（用者＝取用〈聖〉〈聖乙〉*）となっている。

- 15 提知者若自知若從他聞蟲者若眼所見若
- 16 澆水囊所得波逸提者煮燒覆障若不悔過
- 17 能障礙道是中犯者若比丘知水有蟲取用³¹⁹
- 18 隨所有蟲死一一波逸提若比丘用有蟲水
- 19 煮飯羹粥湯染隨³²⁰所蟲死一一波逸提若比
- 20 丘取³²¹有蟲水洗手³²²脚洗口面目洗身隨³²³所蟲
- 21 死一一波逸提若有蟲水中有蟲想取³²⁴用波
- 22 逸提有蟲水中無蟲想亦³²⁵波逸提有蟲水中
- 23 疑用波逸提無蟲水中有蟲想用突吉羅無
- 24 蟲水中疑用突吉羅無蟲水中無蟲想³²⁶不犯

(第一紙) T23p97b29~

- 1 〈四十／一事³⁸³〉
- 2 仏在舍衛國爾時跋難陀積子常出入一家
- 3 時跋難陀中前着衣持鉢到是家与坐処³²⁹
- 4 問訊樂不樂是居士取³³⁰婦不³³¹久欲手摩触婦
- 5 婦³³²言莫爾比丘在此居士自念若我住此³³³比
- 6 丘終不時去居士語婦言³³⁴与比丘食答言爾
- 7 居士即出婦語比丘言受是飯麩「麦十久+田」³³⁵跋難陀
- 8 言日早小住時到当受居士意謂比丘出³³⁶去入
- 9 欲近婦見比丘故在居士作是念若我在
- 10 者比丘不去語婦言与比丘食答言爾居士

29 取用³²⁹用者【大】

30 〔爾〕+【大】 大正蔵の校注は、〔爾〕一〔聖〕〔聖乙〕*となつてゐる。

31 〔比丘〕一【大】

32 取³³⁰用【大】

33 〔洗〕+【大】 大正蔵に校注なし。

34 〔爾〕+【大】

35 〔取〕一【大】 大正蔵に校注なし。

36 亦³³¹用【大】

37 〔用〕+【大】

38 事³³²竟【大】

39 与坐処³³³坐已【大】

40 取³³⁴聚【大】

41 不³³⁵未【大】

42 〔婦〕一【大】

43 此³³⁶者【大】

44 〔言〕一【大】

45 〔麦十久+田〕一【大】 大正蔵に校注なし。

46 出³³⁷已【大】

- 11 即出婦⁵¹持飯麩与語比丘受跋難陀言小住
- 12 日⁵²早時到当食⁵³居士⁵⁴又⁵⁵念比丘必出⁵⁶入已故
- 13 見即發瞋言用是比丘為我於家中自所欲
- 14 作不得自在跋難陀如是惱居士已便出去
- 15 食後向諸比丘說我今日故惱是居士是中
- 16 有比丘少欲知足行頭陀聞是事心不喜種
- 17 種因緣呵⁵⁷責⁵⁸云何名比丘有食家中強坐種
- 18 種⁵⁹呵⁶⁰已向仏広説仏以是事集比丘僧知而
- 19 故問跋難陀汝実作是事不答言実作世尊
- 20 仏以種種因緣呵⁶¹責⁶²云何名比丘有食家中
- 21 強作⁶³種種⁶⁴呵⁶⁵已語諸比丘以十利故与⁶⁶比丘
- 22 結戒從今是戒応如是説若比丘有食家中
- 23 強坐⁶⁷波逸提有食者女人若⁶⁸男子食家者白
- 24 衣房舍名家⁶⁹波逸提者煮燒覆障若不悔過
- 25 能障礙道是中犯者若比丘有食家中強坐

(第二紙) T23p98a04~

- 1 波逸提若起還坐隨得爾所波逸提不犯者
- 2 若断淫⁷⁰欲家若受齋家若更有所尊重人
- 3 在坐⁷¹若是舍多人出入不犯 (四十二/事⁷²竟)
- 4 仏在舍衛国爾時跋難陀积子常出入一家
- 5 中前着衣持鉢往到其舍閉門戸向独与一

47 〔復〕+〔大〕
 48 〔時〕+〔大〕
 49 食⁷³受〔大〕
 50 又⁷⁴復〔大〕
 51 出⁷⁵去〔大〕
 52 呵⁷⁶訶〔大〕 大正蔵に校注なし。
 53 〔因縁〕+〔大〕
 54 呵⁷⁷訶〔大〕 大正蔵に校注なし。
 55 呵⁷⁸訶〔大〕 大正蔵に校注なし。
 56 作⁷⁹坐〔大〕
 57 〔因縁〕+〔大〕
 58 呵⁸⁰訶〔大〕 大正蔵に校注なし。
 59 〔諸〕+〔大〕 大正蔵の校注は、〔諸〕一〔聖〕〔聖乙〕*となつてゐる。
 60 〔者〕+〔大〕
 61 若⁸¹名〔大〕
 62 〔名家〕一〔大〕
 63 淫⁸²姪〔大〕 大正蔵に校注なし。
 64 坐⁸³座〔大〕 大正蔵に校注なし。
 65 〔事〕一〔大〕 大正蔵の校注は、〔事〕+竟〔聖〕〔聖乙〕*となつてゐる。

- 6 女人⁸⁶舍内相近坐時有一乞食比丘早起着
- 7 衣持鉢入城乞食次到是家門前立彈指時
- 8 時⁸⁷跋難陀⁸⁸見乞食比丘是乞食比丘不見跋
- 9 難陀跋難陀語居士婦与是比丘食女人作
- 10 是念必是跋難陀相識即取鉢与滿粳米
- 11 飯以好羹澆上乞食比丘得已持去女人還
- 12 入跋難陀問⁸⁹与是⁹⁰比丘食邪⁹¹答言已与跋難
- 13 陀言善此是⁹²好比丘跋難陀食後還祇洹⁹³見
- 14 乞食比丘作是念莫使我空作恩分語彼比
- 15 丘言汝今日至其舍⁹⁴乞食不答言到得好食
- 16 不答言得汝知不我教与汝比丘問言汝爾
- 17 時在何処答言在舍⁹⁵内乞食比丘以是事向諸
- 18 比丘說是中有比丘少欲知足行頭陀聞是
- 19 事心不喜種種因緣呵⁹⁶責云何名比丘有食
- 20 家中⁹⁷独与一女人相近⁹⁸坐舍内種種⁹⁹呵¹⁰⁰已向
- 21 仏広説仏以是事集比丘僧知而故問跋難
- 22 陀汝実作是事不答言実作世尊仏以種種
- 23 因縁呵¹⁰¹責云何名比丘有食家中独与一¹⁰²女
- 24 人強坐舍内如是呵¹⁰³已為説本生因縁仏語
- 25 諸比丘過去世¹⁰⁴有狗捨自家至他家乞食入

(第四紙) T23p98b01~

- 86 【人】一【大】
- 87 【時】一【大】 大正蔵に校注なし。
- 88 【釈子】+【大】
- 89 【言】+【大】
- 90 【是】一【大】
- 91 邪¹⁰¹耶【大】 大正蔵に校注なし。
- 92 【是】一【大】
- 93 洹¹⁰²桓【大】 大正蔵の校注は、(祇桓¹⁰³祇洹¹⁰⁴(聖乙)下同)となっている。
- 94 其舍¹⁰⁵某家【大】
- 95 舍¹⁰⁶房【大】
- 96 呵¹⁰⁷訶【大】 大正蔵に校注なし。
- 97 【中】一【大】 大正蔵に校注なし。
- 98 相近¹⁰⁸強【大】 大正蔵の校注は、(強¹⁰⁹相近¹¹⁰(聖)〔聖乙〕*)となっている。
- 99 【因縁】+【大】
- 100 呵¹¹¹訶【大】 大正蔵に校注なし。
- 101 呵¹¹²訶【大】 大正蔵に校注なし。
- 102 【一】一【大】
- 103 呵¹¹³訶【大】 大正蔵に校注なし。
- 104 【時】+【大】

- 1 他家時身在門内尾在門外時主人居士打
- 2 不与食狗詣衆官言是居士我至是⁸⁵家乞食
- 3 不与我食及⁸⁶更打我不破狗法衆官問言
- 4 狗有何法答言我在自家随意坐臥至⁸⁷他家
- 5 時身入門内尾在門外衆官言喚居士來即⁸⁸
- 6 時⁸⁹將來問言汝実打是狗不与食邪⁹⁰答言実
- 7 爾衆官言如是因縁者由来未有即問狗言
- 8 此人応云何治狗言与此舍衛⁹¹大居士職⁹²何
- 9 以故答言我昔在此舍衛城中作大居士以
- 10 身口作惡故受是弊狗身是人惡甚於我若
- 11 令是人得⁹³力勢者極作大⁹⁴惡令入地獄極受
- 12 苦惱更以何事治能劇於是仏言畜生尚知
- 13 入他家法有斉限何況於人而不知法種種
- 14 因縁呵⁹⁵已語諸比丘以十利故与⁹⁶比丘結戒從
- 15 今是戒応如是説若比丘有⁹⁷食家中独与
- 16 一女人舍内相近⁹⁸坐波逸提有食⁹⁹者女人名
- 17 男子食独者即一比丘一女人更無第三人
- 18 相近強¹⁰⁰坐者深入乞食比丘所不見処波逸
- 19 提者煮燒覆障若不悔過能障礙道是中犯
- 20 者若比丘有食家¹⁰¹独与一女人深処¹⁰²坐三事
- 21 起一波逸提一者有食家二者独共一女人三
- 22 者深処坐若從坐起還坐更得¹⁰³波逸提隨

85 是⁸⁵其【大】

86 及⁸⁶反【大】 大正蔵に校注なし。

87 至⁸⁷到【大】

88 即時⁸⁸時即【大】

89 邪⁸⁹耶【大】 大正蔵に校注なし。

90 〔城内〕+【大】

91 職⁹¹職【大】 大正蔵に校注なし。

92 〔位〕+【大】

93 得⁹³有【大】 大正蔵に校注なし。

94 作大⁹⁴当作【大】

95 呵⁹⁵訶【大】 大正蔵に校注なし。

96 〔諸〕+【大】

97 〔有〕+【大】

98 相近⁹⁸強【大】

99 〔家〕+【大】 大正蔵に校注なし。

100 相近強¹⁰⁰深処【大】 大正蔵の校注の内容（深處¹⁰⁰相近〔聖〕〔聖乙〕）が正確ではない。

101 〔中〕+【大】 大正蔵に校注なし。

102 深処¹⁰²共【大】

103 〔三事起〕+【大】

23 起還坐随得¹⁰⁴。波逸提若閉戸向外有¹⁰⁵。淨人者
 24 波逸提若開戸向外有作淨¹⁰⁶者突吉羅若閉¹⁰⁷。
 25 戸向內有作淨者坐¹⁰⁸不犯。〔四十三／事¹⁰⁹竟〕

(第五紙) T23-98b28~

1 仏在舍衛国爾時毘羅然国有婆羅門王名
 2 阿耆達以因縁故向舍衛国宿¹¹⁰居士舍問是
 3 居士言是舍衛城頗有沙門婆羅門為大衆
 4 之¹¹¹師多人所敬皆言好人¹¹²我當時時往見親
 5 近時¹¹³或令我心清淨歡喜居士答¹¹⁴言有沙門
 6 瞿曇出积種¹¹⁵以信出家剃除鬚髮着袈裟得
 7 阿耨多羅三藐三菩提汝當時時往見親近
 8 或令汝心清淨歡喜問言瞿曇沙門今在何
 9 所¹¹⁶我当往見答言瞿曇沙門在舍衛¹¹⁷祇桓精
 10 舍聞已出居士舍往詣祇桓爾時仏与無量
 11 百千万衆圍遶¹¹⁸說法阿耆達¹¹⁹遙見仏在林間
 12 端政¹²⁰殊特諸根寂滅身出無量光炎¹²¹如真金
 13 聚至小道口下車¹²²步進前詣仏所問訊畢一
 14 面坐仏見坐已種種因縁說法示教利喜示
 15 教利喜已默然時阿耆達聞仏說法示教利
 16 喜¹²³白仏言世尊願仏及僧受我毘羅然国夏
 17 安居一時仏作是念我先世果報必应当受

104 〔爾所〕+【大】
 105 〔作〕+【大】
 106 〔人〕+【大】
 107 閉||開【大】
 108 者坐||人者【大】
 109 〔事〕-【大】
 110 〔一〕+【大】
 111 〔之〕-【大】
 112 〔耶〕+【大】
 113 〔時〕-【大】
 114 〔答〕-【大】
 115 〔中〕+【大】 大正蔵に校注なし。
 116 所||処【大】 大正蔵に校注なし。
 117 〔城〕+【大】
 118 遶||繞【大】 大正蔵に校注なし。
 119 〔王〕+【大】
 120 政||正【大】 大正蔵に校注なし。
 121 炎||焰【大】 大正蔵に校注なし。
 122 車||乘【大】
 123 〔已〕+【大】

- 18 作是念已默然受請是婆羅門知仏默然受¹²⁴
- 19 即從坐起右¹²⁵而去是婆羅門所有因緣事
- 20 作¹²⁶竟還毘羅然国到自舍為仏及僧¹²⁷夏四
- 21 月多美飲食爾時阿耆達王語守門者我欲
- 22 夏四月斷外人客¹²⁸女¹²⁹樂自娛外事好醜一不
- 23 得白時守門者受勅如教仏知安居時到
- 24 以是因緣集比丘僧告諸比丘今当往詣毘
- 25 羅然国受¹³⁰安居¹³¹請¹³²諸比丘¹³³受教於是世尊与

(第六紙) T23,98c24~

- 1 五百比丘俱入其国其国信邪先無精舍城
- 2 北有勝葉樹林其樹茂好地甚平博仏与大
- 3 衆止此林中彼邑狭小人衆少信乞食難得
- 4 仏夜過已会僧会僧已勅諸比丘汝等当知
- 5 此邑狭小人衆少信乞食難得若欲此安居
- 6 者住不者随意是時舍利弗独往不空道
- 7 山中受天王釈夫人阿須輪女舍¹³⁴之¹³⁵請夏四月
- 8 安居天食供養時仏与五百比丘少一人在
- 9 毘羅然国安居彼諸居士及婆羅門以少信
- 10 心供養仏及僧至五六日便止諸比丘行乞
- 11 食時極苦難得長老大目犍連白仏言世尊
- 12 有樹名閻浮因此樹故地名閻浮提欲取此
- 13 果与大衆食近閻浮提¹³⁶樹有訶梨勒林有阿
- 14 摩勒林¹³⁷鬱单曰¹³⁸自然粳米切利天上有食名
- 15 須¹³⁹陀皆欲取来以供大衆有甘地¹⁴⁰肥¹⁴¹我以一

¹²⁴ 【巳】 + 【大】 大正蔵の校注は、(【巳】 - 〈聖乙〉*)となつてゐる。

¹²⁵ 遶 || 繞 【大】 大正蔵に校注なし。

¹²⁶ 【作】 - 【大】

¹²⁷ 辨 || 辦 【大】

¹²⁸ 女 || 安 【大】

¹²⁹ 【受】 - 【大】 大正蔵に校注なし。

¹³⁰ 【請】 - 【大】

¹³¹ 【言】 + 【大】

¹³² 之 || 脂 【大】

¹³³ 【提】 - 【大】

¹³⁴ 林 || 果 【大】

¹³⁵ 【有】 + 【大】

¹³⁶ 須 || 修 【大】

¹³⁷ 肥 || 味 【大】 大正蔵の校注は、(味 || 肥) 〈聖乙〉*となつてゐる。

- 16 手擎諸衆生一手反地令諸比丘取地肥¹³⁸噉
 17 願皆聽許仏語目連汝雖有大神力諸比丘
 18 惡行報熟不可移轉皆不聽取¹³⁹是国清涼
 19 水草豐美¹⁴⁰時有波羅奈¹⁴¹諸牧馬人隨逐¹⁴²草
 20 來到此国諸牧馬人信仏心淨見諸比丘行乞食
 21 時極苦難得語諸長老言極辛苦¹⁴³答言極
 22 苦皆言我等知汝極苦乞食難得今糧食盡
 23 正有馬麥汝能噉不諸比丘言仏不¹⁴⁴聽我等
 24 食馬麥諸比丘不知云何以¹⁴⁵是事白仏¹⁴⁶白仏
 25 仏言馬属看馬人若諸看馬人能¹⁴⁷好草噉

(第七紙) T2399a25~

- 1 水食馬令肥此麦自在応受是馬有五百匹
 2 比丘有五百少一人一馬食麦二升¹⁴⁸一升¹⁴⁹与
 3 比丘一升¹⁵⁰与馬中有良馬食¹⁵¹四升¹⁵²二升¹⁵³与仏
 4 二升¹⁵⁴与良馬阿難取仏麦分并自取¹⁵⁵分入
 5 聚落中到一女人前讚仏功德¹⁵⁶有如是念定
 6 智慧解脱知見大慈大悲有一切智三十二相
 7 八十種好身真金色頂¹⁵⁷有円光有梵音声視
 8 之無厭若不出家応作轉輪聖王我与汝等
 9 一切皆属今出家得阿耨多羅三藐三菩提

138 肥^{||}味【大】

139 取^{||}許【大】

140 美^{||}茂【大】

141 奈^{||}奈国【大】 大正蔵に校注なし。

142 【水】+【大】

143 邪^{||}耶【大】 大正蔵に校注なし。

144 不^{||}未【大】

145 大正蔵の校注は、(以)一(聖)となっている。

146 【白仏】一【大】

147 与^{||}以【大】

148 升^{||}斗【大】 大正蔵の校注は、(斗^{||}升(聖乙)*となっている。

149 升^{||}斗【大】

150 升^{||}斗【大】

151 【麦】+【大】 大正蔵に校注なし。

152 升^{||}斗【大】

153 升^{||}斗【大】

154 升^{||}斗【大】

155 【取】一【大】

156 【仏】+【大】 大正蔵に校注なし。

157 頂^{||}項【大】

- 10 未度者度未解者解未滅者滅未度生老¹⁵⁸
- 11 死憂悲苦惱者度以少¹⁵⁹ 因縁在此安居汝持
- 12 此麦為仏作飯女即答言我家多事不能得
- 13 作時有一女聞仏功德即生敬心如是人者
- 14 世未曾有語阿難言我為¹⁶⁰ 作飯并¹⁶¹ 作汝分更
- 15 有善德持戒比丘若有力者亦當為¹⁶² 作女即
- 16 作飯持与阿難阿難深心敬仏如是思惟仏
- 17 為王種常¹⁶³ 脩¹⁶⁴ 膳今此龜惡何能益身作
- 18 是念已行水授飯見仏食之悲咽¹⁶⁵ 情塞仏
- 19 知其意而¹⁶⁶ 积之曰汝能噉此飯不答言能噉
- 20 受而食之滋味非常夷是諸天以味加之欣
- 21 悅無量悲塞即除仏食已訖阿難行水洗¹⁶⁷ 手
- 22 撰¹⁶⁸ 鉢白仏言世尊今倩一女作飯不肯傍有
- 23 一女不倩自作仏語阿難不作飯者所応得
- 24 福¹⁶⁹ 則不能得其¹⁷⁰ 作飯者心作¹⁷¹ 輪聖¹⁷² 王第一
- 25 夫人自作飯者此福無量若使不作飯¹⁷³ 福此

(第八紙) T23p90b22~

- 1 徳広大¹⁷³ 是時世尊宿行未除一時之中無有
- 2 知仏及僧於毘羅然国噉馬麦者爾時魔王
- 3 化作諸比丘飯食盈長齋向諸国道路相¹⁷⁴ 逢
- 4 者問言汝從何來答言毘羅然国來諸居士

158 (病) + 【大】 大正蔵に校注なし。
 159 少 || 小 【大】
 160 為 || 与 【大】 大正蔵の校注は、(与 || 為 (聖乙) *) となっている。
 161 并 || 及 【大】
 162 為 || 与 【大】
 163 脚 || 御 【大】 大正蔵に校注なし。
 164 脩 || 肴 【大】
 165 咽 || 哽 【大】
 166 (欲) + 【大】
 167 洗 || 澆 【大】
 168 (衣) + 【大】
 169 得福 || 当得 【大】
 170 其 || 若 【大】
 171 (聖) - 【大】
 172 飯 || 余 【大】
 173 (乃至解脱) + 【大】
 174 (相) - 【大】

- 5 言仏在彼住有供養不答言¹⁷⁵常有大会¹⁷⁶膳
 6 盈積¹⁷⁷我所持者是彼遺余爾時世尊宿行已
 7 畢十六大国咸聞世尊¹⁷⁸於毘羅然国三月食
 8 馬麦諸国貴人長者居士大富¹⁷⁹商人備衆供
 9 具種種¹⁸⁰餼膳車¹⁸¹駟¹⁸²充滿來迎世尊如親遠至
 10 時有七日未至受歲¹⁸³仏知故問阿難受歲幾
 11 日在¹⁸⁴阿難答言余有七日仏告阿難汝行入
 12 城語阿耆達仏言我於汝国安居¹⁸⁵竟欲遊行
 13 諸国諸比丘言世尊是婆羅門於仏衆僧
 14 有何恩德在此安居窮乏困極¹⁸⁶賓主之法宜
 15 応爾不而与之別¹⁸⁷仏言此婆羅門雖復無恩
 16 而与之¹⁸⁸別阿難受教与一比丘俱到門下語¹⁸⁷
 17 門人可白汝王阿難在外時守門者思惟念
 18 言阿難名吉清且聞之不自王者是為不祥
 19 時阿耆達王清且¹⁸⁹沐頭着白淨衣独坐中堂
 20 守門者白言¹⁹⁰阿難在外婆羅門相法名吉則
 21 喜即語令前誰遮阿難即与入¹⁹¹坐相問訊已
 22 問阿難言汝何故來答言仏遣我來語汝我
 23 夏三月住汝国界安居已竟欲¹⁹²遊行余国阿
 24 耆達驚言阿難瞿曇沙門在毘羅然国夏住
 25 邪¹⁹³阿難言然婆羅門言云何得住誰所供養¹⁹³

175 【彼】+【大】

176 餼¹⁷⁶餼¹⁷⁶肴【大】 大正蔵に校注なし。

177 積¹⁷⁷長【大】

178 於¹⁷⁸与五百比丘【大】

179 富¹⁷⁹富【大】 大正蔵に校注なし。

180 餼¹⁸⁰肴【大】 大正蔵に校注なし。

181 駟¹⁸¹馱【大】

182 受歲¹⁸²自恣【大】 大正蔵の校注の内容(恣¹⁸²歳¹⁸²〔聖〕*、受歲〔聖乙〕)が正確ではない。

183 受歲¹⁸³幾日在¹⁸³自恣余有幾日【大】

184 【已】+【大】

185 賓主之法宜¹⁸⁵応爾不而与之別¹⁸⁵而与之別【大】

186 復無恩而与之¹⁸⁶無恩德賓主之法宜¹⁸⁶応与【大】

187 【守】+【大】

188 王清且¹⁸⁸早起【大】

189 【言】-【大】

190 与入¹⁹⁰与入【大】

191 欲¹⁹¹当【大】

192 邪¹⁹²耶【大】 大正蔵に校注なし。

193 養¹⁹³給【大】

(第九紙) T23-99c20~

- 1 阿難答言窮¹⁹⁴之 困極仏及衆僧二月食馬麦
- 2 時阿耆達始自覺悟憶前請仏及僧夏四月
- 3 住供具已備云何令仏及僧三月食馬麦如
- 4 是惡声流布諸国¹⁹⁵言阿耆達長夜惡邪憎悞
- 5 仏法令仏及僧極受¹⁹⁶困苦¹⁹⁶阿耆達¹⁹⁷即語阿難
- 6 沙門瞿曇可得悔過留不阿難言不得時阿
- 7 耆達慚愧憂悶熱悶躡地時¹⁹⁸諸¹⁹⁸宗親以水灑
- 8 面得¹⁹⁹起乃醒親里喻言汝莫愁憂我当与汝
- 9 懺謝瞿曇強請留住若不肯住当齎飲食
- 10 隨後逐送若有乏時当以供養時阿耆達即
- 11 与宗親共詣仏所懺悔請²⁰⁰留²⁰⁰仏自思惟若我
- 12 不受者当吐熱血死仏憐愍故受請七日時
- 13 阿耆達作是思惟此四月供具云何²⁰¹能盡仏
- 14 受²⁰²歲²⁰²竟欲越祇国二月遊行越祇国人聞仏
- 15 当来各設供具我今日汝明日如是次第竟
- 16 於二月仏受²⁰³歲²⁰³已行詣²⁰⁴越祇国²⁰⁵阿耆達齎諸
- 17 供具随送仏去若乏少時当以供養諸越祇
- 18 人聞已共作要令若仏来者各²⁰⁶当日辨²⁰⁷具前
- 19 食²⁰⁸後食²⁰⁸含消漿飲勿令乏少莫使異人間措²⁰⁹
- 20 其間阿耆達知仏宿处先住²¹⁰施設言我今日
- 21 供汝²¹¹明日供諸越耆²¹²人不聽使作²¹³是語阿

194 之¹⁹⁴乏【大】 大正蔵に校注なし。

195 〔当〕+【大】 大正蔵に校注なし。

196 困苦¹⁹⁶苦困【大】

197 〔阿耆達〕-【大】

198 〔諸〕-【大】

199 得¹⁹⁹扶【大】

200 留²⁰⁰住【大】

201 〔七日〕+【大】

202 受²⁰²歲²⁰²自恣【大】 大正蔵の校注は、(自恣²⁰²受²⁰²歲²⁰²〔聖〕〔聖乙〕*)となっている。

203 受²⁰³歲²⁰³自恣【大】

204 行詣²⁰⁴向【大】

205 国²⁰⁵去【大】

206 〔自〕+【大】

207 辨²⁰⁷辦【大】 大正蔵に校注なし。

208 前食後食²⁰⁸小食時食中後【大】

209 措²⁰⁹錯【大】 大正蔵に校注なし。

210 住²¹⁰往【大】

211 汝²¹¹若【大】

212 耆²¹²祇【大】

213 〔作是〕-【大】

- 22 耆達汝長夜邪見²¹⁴是仏怨家故惱仏及僧今
 23 欲悅他意故便作是語我今日供若明日供
 24 汝以²¹⁵何事爾許時令仏及僧三月噉²¹⁶馬麦
 25 今方²¹⁷求供日阿耆達聞是語已慚愧憂愁²¹⁸

(第十紙) T23p100a23~

- 1 在一面立看衆僧為少何物²¹⁹即作種種粥蘇
 2 粥酪²²⁰粥胡麻粥油粥乳粥²²¹摩沙豆粥麻子
 3 粥清粥辨²²²已奉仏言与衆僧衆僧不受
 4 仏未聽我等食八種粥以是事白仏言
 5 從今日聽食八種粥粥有五事益身一者除
 6 飢二者除渴三者下氣四者除齊²²³下冷五者
 7 消宿食²²⁴阿耆達自思惟我夏四月女²²⁵樂自娛
 8 若復二月逐沙門瞿曇者以我一人故發²²⁶諸
 9 国事今此供具多不可盡且²²⁷当布地令仏及
 10 僧以足踏上即是受用即便白仏願仏²²⁸受用
 11 仏告阿耆達不得如汝所言此是食物忝口
 12 受用仏欲遣阿耆達故説偈呪願
 13 一切天祠中 供養火為最 婆羅門書中 薩毘帝為最
 14 一切諸天人²²⁹ 帝王尊為最 一切諸江河 大海深為最
 15 一切星宿中 月明第一最 一切照明中 日光上為²³⁰最
 16 十方天人中 仏福田為最
 17 爾時仏与阿耆達呪願竟遊行跋耆向舍衛
 18 国爾時有一裸形外道随逐仏後是外道身

214 邪見 || 悪邪 【大】

215 以 || 有 【大】

216 噉 || 食 【大】

217 〔方〕 - 【大】

218 憂愁 || 愁憂 【大】

219 〔我当与之値時無粥〕 + 【大】

220 蘇粥酪 || 酥 【大】

221 〔小豆粥〕 + 【大】

222 辨 || 辦 【大】 大正蔵に校注なし。

223 齊 || 臍 【大】 大正蔵に校注なし。

224 〔時〕 + 【大】 大正蔵に校注なし。

225 女 || 安 【大】

226 故發 || 廢 【大】 大正蔵の校注の内容 (人廢 || 人故廢 (聖) (聖乙)) が正確ではない。

227 且 || 且 【大】 大正蔵に校注なし。

228 仏 || 時 【大】

229 天人 || 人中 【大】

230 上為 || 为上 【大】

- 19 体肥大多**脂肉血**²³⁷復有一外道從前逆來問
- 20 裸形外道言汝**在**²³⁸此行為何所得答言得如
- 21 是如是食問**言**²³⁹何因緣得答言因是禿居士
- 22 得彼即罵言汝弊罪人因他得如是飲食云
- 23 何作惡不善語²⁴⁰若瞿曇沙門聞是**諸**²⁴¹者必当
- 24 結戒不聽弟子与外道食是有比丘少欲
- 25 知足行頭陀聞是事心不喜向仏広説仏以

(第十一紙) T23p100b23~

- 1 是事集比丘僧語諸比丘是諸外道長夜邪
- 2 見是法怨賊求覓罪過若為他人刀杖所打
- 3 若得毒藥若有殺者必当言沙門積子所為
- 4 爾時仏但**呵**²⁴²責而未結戒仏次第遊行**諸国**²⁴³
- 5 到舍衛国爾時衆人聞仏三月噉²⁴⁴麦故猶多
- 6 供養未息有壳餅女人為仏及僧**辨**²⁴⁵於**餅**²⁴⁶食
- 7 時阿難於中知飲食事諸仏常法不盡得食
- 8 不從坐起**所以者何**²⁴⁷若食不足仏力令足爾
- 9 時仏猶坐未起有二外道出家女²⁴⁸從阿難乞
- 10 餅阿難不憶念仏語各与一餅時有二餅相
- 11 着故一人得一人得二²⁴⁹時得一者言与我
- 12 半餅若不与者我当相辱答言各随所得何
- 13 以与汝第二更言与我半餅若不与者我
- 14 当相辱答言各随所得我不与汝得一者言阿
- 15 難必是汝夫若共私通若非夫非私通者**如**²⁵⁰

²³¹ 脂肉血 || 肉 【大】

²³² 在 || 於 【大】

²³³ 【言】 - 【大】 大正蔵に校注なし。

²³⁴ 【若人随所得好食安隱処而訶罵者不名為人】 + 【大】

²³⁵ 諸 || 語 【大】 「諸」の中央に見せ消ち（朱点）あり、右傍に「語」（朱書）あり。

²³⁶ 呵 || 訶 【大】 大正蔵に校注なし。

²³⁷ 【諸国】 - 【大】

²³⁸ 【馬】 + 【大】

²³⁹ 辨 || 辦 【大】 大正蔵に校注なし。

²⁴⁰ 餅 || 飲 【大】 大正蔵の校注の内容（飲食 || 飯食（聖）（聖乙））が正確ではない。

²⁴¹ 所以者何 || 何以故 【大】

²⁴² 【人】 + 【大】

²⁴³ 【得已小遠共相問言汝得幾餅答言得一汝復得幾答言得二】 + 【大】

²⁴⁴ 【如】 - 【大】 SAT2015 S Footnote の内容（者 + （加）（聖）（聖乙））が正確ではない。

- 16 与我²⁴⁵ 一応与汝²⁴⁶ 一如与汝二応与我二即便
 17 相瞋按頭大喚仏知故問阿難誰故大喚答
 18 言外道女何故大喚阿難向仏広説是事時
 19 仏食後以此因縁及先因縁故集比丘僧語
 20 諸比丘汝等当知是諸外道長夜邪見是法
 21 怨賊求覓過罪²⁴⁷ 若為他人刀杖所打若得毒
 22 菓若有殺者必当言²⁴⁸ 沙門釈子所作語諸比
 23 丘以十利故与²⁴⁹ 比丘結戒從今是戒応如是
 24 説若比丘裸形外道外道女自手与²⁵⁰ 食波逸
 25 提裸形者²⁵¹ 阿者²⁵² 維道尼撻子²⁵³ 外道者²⁵⁴ 上道上

(第十一紙) T23p100c22~

- 1 弟子道²⁵⁴ 仏言略説除仏五衆余²⁵⁵ 出家人皆名
 2 外道飲²⁵⁶ 食者五佉陀尼五苦²⁵⁷ 闍尼五似食波
 3 逸提者煮燒覆障若不悔過能障礙道是中
 4 犯者若比丘以根食自手与裸形外道外道
 5 女波逸提荖葉磨果飯麩糲²⁵⁸ 魚肉糜粟糲²⁵⁹ 麦
 6 加師莠子²⁶⁰ 自手与裸形外道外道女波逸提
 7 若裸形外道乞果者応言我等不遮汝果若
 8 乞水者亦言不遮²⁶¹ 水不犯者若裸形外道外
 9 道女病若親里若求出家時与不犯出家時
 10 者四月試時也²⁶² 〈四十四／事²⁶³ 竟〉

- ²⁴⁵ 我＝汝【大】
²⁴⁶ 汝＝我【大】
²⁴⁷ 過罪＝罪過【大】
²⁴⁸ (是)＋【大】
²⁴⁹ (諸)＋【大】
²⁵⁰ (飲)＋【大】
²⁵¹ (名)＋【大】
²⁵² 者＝耆【大】 「者」の中央に見せ消ち(朱点)あり、右傍に「耆」(朱書)あり。
²⁵³ (道尼撻)＋【大】
²⁵⁴ 上道上弟子道＝老子老弟子【大】
²⁵⁵ (殘)＋【大】
²⁵⁶ (飲)－【大】
²⁵⁷ 苦＝蒲【大】
²⁵⁸ 糲＝糲【大】
²⁵⁹ 糲＝糲【大】 大正蔵に校注なし。
²⁶⁰ 加師莠子＝莠子加師【大】
²⁶¹ (汝)＋【大】
²⁶² 与不犯出家時者四月試時也＝出家時者四月試時与不犯【大】
²⁶³ (事)－【大】

- 11 仏在舎衛国爾時波斯匿王有小国反起四
 12 種兵象兵馬²⁶⁴車兵步兵集四種²⁶⁵兵已王自往
 13 看鎧銷²⁶⁶好不兵人樂不爾所軍衆能破敵不
 14 六群比丘共相謂言今軍欲發共看去來²⁶⁷皆
 15 言随意即往軍処²⁶⁸所立看諸国王相²⁶⁹常喜遠
 16 視王遙見比丘遣人問言何因縁来比丘²⁷⁰
 17 答言我欲看²⁷¹王王作是念²⁷²我²⁷³余時難得²⁷⁴見邪²⁷⁵
 18 諸比丘今乃来²⁷⁶軍中見我仏聞是事必当結
 19 戒不聽比丘看軍發行王喚比丘来即詣王
 20 所王言何因縁来答言来欲見王王言我余
 21 時難得見邪²⁷⁷乃来軍中求²⁷⁸見仏聞是事必当
 22 結戒不聽比丘看軍發行是有比丘少欲
 23 知足行頭陀聞是事心不喜種種因縁呵²⁷⁹責
 24 云何名比丘看軍發行種種²⁸⁰呵²⁸¹已向仏広説
 25 仏以是事集比丘僧知而故問六群比丘汝²⁸²

(第十一紙) T23p101a27~

- 1 作是事不答言実作世尊仏以種種因縁呵²⁸³
 2 責²⁸⁴云何名比丘往看軍發行種種²⁸⁵呵²⁸⁶已語諸

- 284 【兵】 + 【大】
 285 【種】 - 【大】
 286 銷 = 仗【大】 大正蔵の校注の内容(仗 = 鎖〈聖〉〈聖乙〉)が正確ではない。
 287 来 = 耶【大】
 288 処所 = 所一処【大】 大正蔵の校注の内容(一) - 〈聖乙〉)が正確ではない。
 289 相 = 眼【大】
 290 比丘 = 六群比丘即【大】
 291 看 = 見【大】
 292 【語大臣言】 + 【大】
 293 【於】 + 【大】
 294 【得】 - 【大】
 295 邪 = 耶【大】 大正蔵に校注なし。
 296 【来】 - 【大】
 297 邪 = 耶【大】 大正蔵に校注なし。
 298 【求】 - 【大】
 299 呵 = 訶【大】 大正蔵に校注なし。
 300 【因縁】 + 【大】 大正蔵の校注は、(因縁) - 〈聖乙〉*となっている。
 301 呵 = 訶【大】 大正蔵に校注なし。
 302 【実】 + 【大】
 303 呵 = 訶【大】 大正蔵に校注なし。
 304 【六群比丘】 + 【大】
 305 【因縁】 + 【大】
 306 呵 = 訶【大】 大正蔵に校注なし。
 307 大正蔵の校注は、(訶 + (責)〈聖乙〉)となっている。

- 3 比丘以十利故与²⁸⁸比丘結戒從今是戒応如
- 4 是説若比丘故往看軍發行波逸提軍發行
- 5 者為鬪破賊故集諸兵人軍者一兵軍二三
- 6 四兵軍一兵者但象兵但馬兵但車兵但步
- 7 兵是名一兵二兵者象兵馬兵象兵車兵象
- 8 兵步兵馬兵車兵馬兵步兵兵步兵兵是名
- 9 二兵三兵者象兵馬兵車兵象兵馬兵步兵²⁸⁹
- 10 是名三兵四兵者象兵馬兵車兵步兵兵是名
- 11 四兵波逸提者煮燒覆障若不悔過能障礙
- 12 道是中犯者若比丘故²⁹⁰看軍發行得見者波
- 13 逸提不見者突吉羅從下向高得見者波
- 14 逸提不見者突吉羅從高向下得見者波逸
- 15 提不見者突吉羅一兵軍二兵軍²⁹¹三兵軍²⁹²四
- 16 兵軍亦如是不犯者若不故去若有因縁道
- 17 由中過不犯爾時軍去至彼久²⁹³破賊時波斯
- 18 匿王有二大臣一名尼師達多二名富羅那
- 19 先在彼軍有親里比丘別久憂念欲見²⁹⁴此
- 20 二大臣遣使²⁹⁵喚欲軍中見比丘比丘²⁹⁶報言
- 21 仏結戒不得看軍汝莫憂愁以是因縁我不
- 22 得往諸比丘不知云何以是事白仏仏以是
- 23 事集比丘僧種種因縁讚戒讚持²⁹⁷戒讚
- 24 持戒已語諸比丘從今是戒応如是説若比
- 25 丘故往看軍發行波逸提除²⁹⁸因縁²⁹⁹因縁者若

(第十四紙) T23p101b24~

- 1 王遣使喚²⁹⁹王夫人王子大臣大官諸將如是

288 【諸】 + 【大】
 289 【馬兵車兵步兵】 + 【大】
 290 【往】 + 【大】
 291 【軍】 - 【大】 大正蔵の校注は、(兵 + (軍) (聖乙) *) となっている。
 292 【軍】 - 【大】
 293 【未】 + 【大】
 294 【比丘】 + 【大】
 295 来 || 往 【大】 大正蔵に校注なし。
 296 【遣使】 + 【大】
 297 持 || 讚 【大】 大正蔵の校注の内容 (讚 || 贊 (聖乙)) が正確ではない。
 298 波逸提除因縁 || 除因縁波逸提 【大】
 299 【若】 + 【大】

- 2 人遣使往喚³⁰⁰者不犯〈四十五／事³⁰⁷竟〉
 3 爾時仏聽諸比丘有因縁得至軍中諸比丘
 4 親里多此今日請彼明日請如是展轉軍中
 5 久住軍中有不敬³⁰⁸信者嫉妬瞋言我等為聚
 6 落官職人民稟³⁰³食故在此是比丘弊惡不吉
 7 何因縁復來在此是比丘久住在³⁰⁴此者或作
 8 細作我等³⁰⁵因是比丘故或³⁰⁶破失退墮是中有
 9 比丘少欲知足行頭陀聞是事心不喜向仏
 10 広説仏以是事集比丘僧種種因縁呵³⁰⁷責諸
 11 比丘云何名比丘往軍中宿過二夜種種呵³⁰⁹
 12 已語諸比丘以十利故与³¹⁰比丘結戒從今日³¹¹
 13 是戒応如是説若比丘有因縁往軍中宿過
 14 二夜波逸提波逸提者煮燒覆障若不悔過
 15 能障礙道是中犯者若比丘往軍中過二夜
 16 宿波逸提若在軍中至三夜地了時波逸提
 17 〈四十六／事³¹²竟〉
 18 仏在王舎城爾時六群比丘二夜軍中宿時
 19 往看軍陣看³¹³器杖牙旗幢幡³¹⁴兩陣合戰是中
 20 有比丘少欲知足行頭陀聞是事心不喜種
 21 種因縁呵³¹⁵責云何名比丘軍中二夜宿時往
 22 看³¹⁶陣看着器仗牙旗幢幡³¹⁷兩陣合戰種種³¹⁸
 23 呵³¹⁹已向仏説仏以是事集比丘僧知而故

300 往喚＝喚往【大】

301 (事)－【大】

302 (敬)－【大】

303 稟＝廩【大】 大正蔵に校注なし。

304 (在)－【大】 大正蔵に校注なし。

305 (或)＋【大】

306 (或)－【大】

307 呵＝訶【大】 大正蔵に校注なし。

308 (因縁)＋【大】

309 呵＝訶【大】 大正蔵に校注なし。

310 (諸)＋【大】 大正蔵に校注なし。

311 (日)－【大】 大正蔵の校注は、(今＋(日)〈聖(聖乙)*)となつてゐる。

312 (事)－【大】

313 (著)＋【大】

314 幢幡＝幢幡【大】 大正蔵に校注なし。

315 呵＝訶【大】 大正蔵に校注なし。

316 (軍)＋【大】

317 幢幡＝幢幡【大】 大正蔵に校注なし。

318 (因縁)＋【大】

319 呵＝訶【大】 大正蔵に校注なし。

24 問六群比丘汝實作是事不答言實作世尊
 25 仏以種種因縁呵³²⁰責云何名比丘軍中二夜

(第十五紙) T23p101c21~

- 1 宿時往看軍陣看着器仗牙旗懂惱³²¹兩障³²²合
- 2 戰種種³²³呵³²⁴已語諸比丘以十利故与³²⁵比丘結
- 3 戒從今日³²⁶是戒応如是説若比丘二夜軍中
- 4 宿時往看軍陣看着器仗³²⁷牙旗懂惱³²⁸兩陣合
- 5 戰波逸提着器仗者莊嚴欲闕軍者象軍馬
- 6 軍軍步軍陣者作陣如弓有如半月有陣
- 7 如日有如鋒頭兩陣相³²⁹対時看者波逸提波
- 8 逸提者煮燒覆障若不悔過能障礙道是
- 9 中犯者若比丘往看軍陣着器仗時得見者
- 10 波逸提不見者突吉羅若從下向高得見³³⁰波
- 11 逸提不見者突吉羅³³¹一軍二軍三軍四軍皆
- 12 如是若看懂惱³³²兩陣闕時亦爾不犯者不故
- 13 往有因縁道由中去³³³不犯〈四十七／事³³⁴竟〉
- 14 仏在王舍城爾時六群比丘与十七群比丘
- 15 共闘諍瞋恚発不喜心打十七群比丘十七
- 16 群比丘啼喚³³⁵諸比丘問何以³³⁶故啼邪³³⁷答言六
- 17 群比丘打我是中有比丘少欲知足行頭陀
- 18 聞是事心不喜種種因縁呵³³⁸責云何名比丘

³²⁰ 呵||訶【大】 大正蔵に校注なし。

³²¹ 懂惱||幡幢【大】 大正蔵に校注なし。

³²² 障||陣【大】 大正蔵に校注なし。

³²³ (因縁) + 【大】

³²⁴ 呵||訶【大】 大正蔵に校注なし。

³²⁵ (諸) + 【大】

³²⁶ (日) - 【大】

³²⁷ 杖||仗【大】 大正蔵に校注なし。

³²⁸ 懂惱||幡幢【大】 大正蔵に校注なし。

³²⁹ (相) - 【大】

³³⁰ (者) + 【大】

³³¹ (若從高向下得見者波逸提不見者突吉羅) + 【大】

³³² 懂惱||幡幢【大】 大正蔵に校注なし。

³³³ 去||見【大】

³³⁴ (事) - 【大】

³³⁵ 喚||泣【大】

³³⁶ (以) - 【大】

³³⁷ 邪||耶【大】 大正蔵に校注なし。

³³⁸ 呵||訶【大】 大正蔵に校注なし。

- 19 共余比丘闕諍瞋恚發不喜心打余比丘種
 20 種³³⁹ 呵³⁴⁰ 已向仏広説仏以是事集比丘僧知而
 21 故問六群比丘汝實作是事不答言實作世
 22 尊仏以種種因縁³⁴¹ 責云何名比丘共余比
 23 丘闕諍瞋恚發不喜心打余比丘種種³⁴² 呵³⁴³ 已
 24 語諸比丘以十利故与³⁴⁴ 比丘結戒從今是戒
 25 応如是説若比丘瞋恚發不喜心打余比丘

(第十六紙) T23p102a26~

- 1 波逸提打者³⁴⁵ 二種若手若脚波逸提者煮
 2 燒覆障若不悔過能障礙道是中犯者若^比
 3 丘³⁴⁶ 以手打波逸提若以脚打波^夜³⁴⁷ 提若³⁴⁸ 余身
 4 分打突吉羅若為呪故若食噎故打拍不犯
 5 〈四十八／事³⁴⁹ 竟〉
 6 仏在王舎城爾時六群比丘与十七群比丘
 7 共闕諍瞋恚發不喜心六群比丘拳掌向十
 8 七群比丘十七群比丘作是念六群比丘莊
 9 健多力若掌着^者³⁵⁰ 我等便死即³⁵¹ 啼喚諸比丘
 10 問何故啼喚答言六群比丘莊健多力拳掌
 11 向我^我³⁵² 怖故啼喚是中有比丘少欲知足行
 12 頭陀聞是事心不喜種種因縁^呵³⁵³ 責言云何
 13 名比丘共^余³⁵⁴ 比丘闕諍瞋恚發不^善³⁵⁵ 心拳掌

339 (因縁) + 【大】

340 呵||訶【大】 大正蔵に校注なし。

341 呵||訶【大】 大正蔵に校注なし。

342 (因縁) + 【大】

343 呵||訶【大】 大正蔵に校注なし。

344 (諸) + 【大】 大正蔵に校注なし。

345 (有) + 【大】

346 (比丘) - 【大】

347 夜||逸【大】

348 (以) + 【大】

349 (事) - 【大】

350 者||我【大】

351 (便) + 【大】

352 (我) - 【大】

353 呵||訶【大】 大正蔵に校注なし。

354 (余) - 【大】

355 善||喜【大】

- 14 向他比丘³⁵⁶種種³⁵⁷呵³⁵⁸已向仏広説仏以是事集
- 15 比丘僧知而故問六群比丘汝実作是事不
- 16 答言実作世尊仏以種種因縁³⁵⁹責云何名
- 17 比丘共余比丘闕諍瞋恚発不喜心举掌向
- 18 他種種因縁³⁶⁰已語諸比丘以十利故与比
- 19 丘結戒従今是戒応如是説若比丘瞋³⁶¹発不
- 20 喜心举掌向他波逸提举掌者有二種手掌
- 21 脚掌波逸提者³⁶²燒煮³⁶³覆障若不悔過能障礙
- 22 道是中犯者若比丘举手掌波逸提若举脚
- 23 掌波逸提除手脚³⁶⁴掌³⁶⁵举余身分向他突吉羅
- 24 不犯者若比丘举掌遮惡獸若遮惡人不犯
- 25 〈四十九／事³⁶⁴竟〉

(第十七紙) T23p102b22~

- 1 仏在舍衛国爾時跋難陀积子有兄比丘名
- 2 曰難徒跋難陀有弟子名達摩亦善持戒是
- 3 弟子不随師行難徒作是念此是我弟弟子
- 4 不随我行又不随我弟行応当治之令随我
- 5 等爾時難徒以女人着一房中往語達摩言³⁶⁶
- 6 到某処来達摩言往何所作答言但来達
- 7 摩作是念此是我師兄云何不随語即便随
- 8 往難徒知立此処得見女人即教此中立待
- 9 我難徒即往女人所除却三瘡抱³⁶⁷鳴³⁶⁸余身和
- 10 合相触作如是已語達摩言汝見不答言見
- 11 汝莫語余人答言我不能覆蔵必以是事白
- 12 仏当向比丘比丘尼説難徒言我亦見汝和
- 13 上作如是事復見劇是尚不語人汝何以語³⁶⁷

³⁵⁶ (比丘) - 【大】

³⁵⁷ (因縁) + 【大】

³⁵⁸ 呵|| 訶【大】 大正蔵に校注なし。

³⁵⁹ 呵|| 訶【大】 大正蔵に校注なし。

³⁶⁰ 呵|| 訶【大】 大正蔵に校注なし。

³⁶¹ (恚) + 【大】 大正蔵に校注なし。

³⁶² 燒煮|| 煮燒【大】 大正蔵の校注は、(煮燒|| 燒煮 (聖乙) *) となっている。

³⁶³ (掌) - 【大】

³⁶⁴ (事) - 【大】

³⁶⁵ (汝) + 【大】 大正蔵に校注なし。

³⁶⁶ 鳴|| 捺【大】

³⁶⁷ (入) + 【大】 大正蔵に校注なし。

- 14 答言汝意自欲使³⁶⁸不語我不能覆藏必当白
 15 仏向比丘比丘尼説時達摩即以是事向諸
 16 比丘説是有比丘少欲知足行頭陀聞是
 17 事心不喜種種因縁³⁶⁹呵³⁷⁰責云何名比丘知他³⁷⁰
 18 有重罪故覆藏不説種種³⁷¹呵³⁷²已向仏広説仏
 19 以是事集比丘僧知而故問難徒汝実作是
 20 事不答言実作世尊仏以種種因縁³⁷³責云
 21 何名比丘知比丘有重罪故覆藏種種因縁
 22 呵³⁷⁴已語諸比丘以十利故与比丘結戒從今
 23 是戒応如是説若比丘知³⁷⁵比丘有重罪覆藏
 24 乃至一夜波逸提知者若若³⁷⁶知若從他聞若
 25 彼比丘自説重罪者波羅夷僧伽婆尸沙一夜

(第十八紙) T23p102c18~

- 1 者從日没至地未了³⁷⁷波逸提者燒煮³⁷⁸覆障若
 2 不悔過能障礙道是中犯者若比丘地了時
 3 見余比丘犯波羅夷是比丘波羅夷中生波
 4 羅夷想竟日没³⁷⁹覆藏至地了時波逸提若是
 5 比丘僧与作不見擯不作擯惡邪不除擯狂
 6 心乱心病壞心不犯若³⁸⁰解擯若苦病上³⁸¹是時
 7 覆藏他罪至地了時波逸提地了已日出時
 8 日出已中前日中日映晡時日没³⁸²日没已
 9 初夜初分初夜中分初夜後分中夜初分中
 10 夜中分中夜後分後夜初分後夜中分後夜

³⁶⁸ (使) - 【大】

³⁶⁹ 呵||訶【大】 大正蔵に校注なし。

³⁷⁰ 他||比丘【大】

³⁷¹ (因縁) + 【大】 大正蔵に校注なし。

³⁷² 呵||訶【大】 大正蔵に校注なし。

³⁷³ 呵||訶【大】 大正蔵に校注なし。

³⁷⁴ 呵||訶【大】 大正蔵に校注なし。

³⁷⁵ (他) + 【大】

³⁷⁶ 若||自【大】 大正蔵に校注なし。「若」の中央に見せ消ち(朱点)あり、右傍に「自」(朱書)あり。

³⁷⁷ (時) + 【大】

³⁷⁸ 燒煮||煮燒【大】

³⁷⁹ (没) - 【大】

³⁸⁰ (僧) + 【大】 大正蔵の校注は、(僧) - (聖) (聖乙) * となっている。

³⁸¹ 病上||痛止【大】

³⁸² (時) - 【大】

- 11 後分覆藏他罪至地了時波逸提又³⁸³比丘地
 12 了時見余比丘³⁸⁴犯僧伽婆尸沙僧伽婆尸沙
 13 中生僧伽婆尸沙想竟日覆藏至地了時波
 14 逸提若是比丘僧与作不見擯不作擯惡邪
 15 不除擯狂心乱心病壞心不犯若³⁸⁵解擯若苦
 16 痛止是時覆藏他罪至地了時波逸提地了已
 17 日出時乃至³⁸⁶日没時日没已乃至³⁸⁷初夜初³⁸⁸分
 18 乃至³⁸⁹後夜後分³⁹⁰藏他罪至地了時波逸提
 19 又³⁹¹比丘見余比丘地了時犯波逸提波羅提
 20 提舍尼突吉羅是比丘突吉羅中生突吉羅
 21 想竟日覆藏至地了時突吉羅是比丘若僧
 22 与作不見擯不作擯惡邪不除擯狂心乱心
 23 病壞心不犯若³⁹²解擯若苦痛止覆藏他罪至
 24 地了時突吉羅³⁹³日出已中前日中日昃晡時
 25 日没時日没已初夜初分乃至³⁹⁴後夜後分覆

(第十九紙) T23p103a19~

- 1 藏他罪至地了時突吉羅若比丘見余比丘
 2 地了時犯波羅夷謂僧伽婆尸沙謂波逸提
 3 謂波逸提提舍尼謂突吉羅是比丘波羅夷
 4 中生突吉羅想竟日覆藏他罪³⁹⁵至地了³⁹⁶波逸
 5 提若是比丘僧与作不見擯不作擯惡邪不
 6 除擯狂心乱心病壞心不犯若³⁹⁷解擯若苦痛
 7 止覆藏他罪至地了時波逸提日出時日出
 8 已中前日中日昃晡時日没時日没已初夜初

³⁸³ 又||有【大】 大正藏の校注は、(有||又〈聖〉〈聖乙〉*)となっている。

³⁸⁴ 地了時見余比丘||見余比丘地了時【大】

³⁸⁵ (僧) + 【大】

³⁸⁶ 乃至||日出已中前日中日昃晡時【大】

³⁸⁷ 乃至||初夜初分初夜中分【大】

³⁸⁸ 初||後【大】

³⁸⁹ 乃至||中夜初分中夜中分中夜後分後夜初分後夜中分【大】

³⁹⁰ 处||覆【大】

³⁹¹ 又||有【大】

³⁹² (僧) + 【大】 大正藏の校注は、(僧) - 〈聖乙〉*)となっている。

³⁹³ (地)了已日出時) + 【大】

³⁹⁴ 乃至||初夜中分初夜後分中夜初分中夜中分中夜後分後夜初分後夜中分【大】

³⁹⁵ (他罪) - 【大】

³⁹⁶ (時) + 【大】 大正藏に校注なし。

³⁹⁷ (僧) + 【大】

- 9 分³⁸⁸乃至後夜後分覆藏他罪至地了時³⁸⁹波逸
 10 提又比丘見余比丘地了時犯僧伽婆尸沙
 11 是僧伽婆尸沙中謂波逸提波羅提提舍尼
 12 突吉羅波羅夷是比丘於僧伽婆尸沙中生
 13 波羅夷想若突吉羅想竟日覆藏至地了時
 14 皆波逸提若僧与作不見擯不作擯惡邪不
 15 除擯狂心乱心病壞心不犯若³⁹⁰解擯若苦痛
 16 止覆藏他罪至地了時波逸提日出時乃至
 17 日没時日没已初夜初分³⁹¹乃至後夜後分覆
 18 藏他罪至地了時波逸提又比丘見余比丘
 19 地了時犯波逸提波羅提提舍尼突吉羅是
 20 比丘突吉羅中謂波羅夷謂僧伽婆尸沙波
 21 逸提波羅提提舍尼³⁹²是比丘突吉羅中生波
 22 羅提提舍尼想若波羅夷想竟日覆藏至地
 23 了時皆突吉羅若僧与作不見擯不作擯惡
 24 邪不除擯狂心乱心病壞心不犯若³⁹³解擯³⁹⁴苦
 25 痛止覆藏他罪至地了時突吉羅³⁹⁵日出時乃

(第二十紙) T23p103b13~

- 1 至日没時日没已初夜初分³⁹⁶乃至後夜後分
 2 覆藏他罪至地了時突吉羅若比丘見余比
 3 丘地了時犯波羅夷是比丘於波羅夷中生
 4 疑³⁹⁷波羅夷非波羅夷後時斷疑於波羅夷中
 5 生波羅夷想竟日覆藏至地了時波逸提若³⁹⁸
 6 比丘僧与作不見擯不作擯惡邪不除擯³⁹⁹狂
 7 心乱心病壞心不犯若僧解擯若苦痛止覆

³⁸⁸ (日出已中前日中日映晡時日没時日没已初夜初分) — 【大】

³⁸⁹ (皆) + 【大】

⁴⁰⁰ (僧) + 【大】

⁴⁰¹ (乃至日没時日没已初夜初分) — 【大】 大正藏の校注は、(時+) (乃至日没時日没已初夜初分)

(聖) (聖乙) * となっている。

⁴⁰² 居 || 尼【大】 大正藏に校注なし。

⁴⁰³ (僧) + 【大】

⁴⁰⁴ (若) + 【大】 大正藏に校注なし。「苦」の右上に「若」(朱書)あり。

⁴⁰⁵ (從) + 【大】

⁴⁰⁶ (乃至日没時日没已初夜初分) — 【大】

⁴⁰⁷ (是) + 【大】 大正藏の校注は、(是) — (聖乙) * となっている。

⁴⁰⁸ (是) + 【大】

⁴⁰⁹ (若) + 【大】

- 8 藏他罪至地曉時波逸提日出時乃至後夜
- 9 後分覆藏他罪至地了時波逸提又比丘見
- 10 余比丘地了時犯僧伽婆尸沙生疑是僧伽
- 11 婆尸沙非僧伽婆尸沙後時斷疑於僧伽婆
- 12 尸沙中生僧伽婆尸沙想竟日覆藏至地了
- 13 時波逸提若是比丘僧与作不見擯不作擯
- 14 惡邪不除擯若狂心乱心病壞心不犯若僧
- 15 解擯若苦痛止覆藏他罪至地了時波逸提三
- 16 又比丘見余比丘地了時犯波逸提波羅提
- 17 提舍尼突吉羅是比丘三突吉羅中生疑是突
- 18 吉羅非突吉羅後時斷疑於突吉羅中生突
- 19 吉羅想竟日覆藏至地了時突吉羅若三比丘
- 20 僧与作不見擯不作擯惡邪不除擯若狂心
- 21 乱心病壞心不犯若僧解擯若苦痛止覆藏
- 22 他罪至地了時突吉羅日出時乃至後夜後
- 23 分覆藏他罪至地了時突吉羅若三比丘見余
- 24 比丘地了時犯波羅夷生疑為波羅夷為僧

(第十一紙) T23p103c09~

- 1 伽婆尸沙為波羅夷為波逸提為波羅夷為
- 2 波羅提提舍尼為波羅夷為突吉羅是比丘
- 3 後時斷疑三波羅夷中生突吉羅想竟日覆藏
- 4 至地了時波逸提若是比丘僧与作不見擯
- 5 不作擯惡邪不除擯若狂心乱心病壞心不
- 6 犯若僧解擯若苦痛止竟日覆藏他罪至地
- 7 了時波逸提三日出時乃至後夜後分覆藏他
- 8 罪至地了時波逸提又比丘見余比丘地了
- 9 時犯僧伽婆尸沙生疑為僧伽婆尸沙為婆
- 10 逸提為僧伽婆尸沙為波羅提提舍尼為僧伽
- 11 婆尸沙為突吉羅為僧伽婆尸沙為波羅夷

⁴¹⁰ 曉二了【大】

⁴¹¹ (日出時乃至後夜後分覆藏他罪至地了時波逸提) + 【大】

⁴¹² (於) + 【大】

⁴¹³ (是) + 【大】

⁴¹⁴ 若二又【大】

⁴¹⁵ (於) + 【大】 大正藏に校注なし。

⁴¹⁶ (從) + 【大】

⁴¹⁷ 婆二波【大】 大正藏に校注なし。

12 是比丘後時断疑於僧伽婆尸沙中生波羅夷想竟日覆藏至地了時波逸提⁴¹⁹是比丘僧与作不見擯不作擯惡邪不除擯若狂心乱

13 心病壞心不犯若僧解擯若苦痛止覆藏他罪至地了時波逸提日出時乃至後夜後分覆藏他罪至地了時波逸提又比丘見余比丘地了時犯波逸提波羅提提舍尼突吉羅是比丘突吉羅中生疑為突吉羅為波羅夷為突吉羅為僧伽婆尸沙為突吉羅為波逸提為突吉羅為波羅提提舍尼是比丘後時断疑於突吉羅中生波羅提提舍尼想若波羅夷想竟日覆藏至地了時皆突吉羅若是比丘僧与作不見擯不作擯惡邪不除擯若

(第二十一紙) T23p104a08~

1 狂心乱心病壞心不犯若僧解擯若苦痛止覆藏他罪至地了時突吉羅日出時乃至後夜後分覆藏他罪至地了時突吉羅〈見他罪向／一人說便〉

4 〈止若謂若⁴¹⁹疑／不須復說也⁴²⁰〉 〈五十／事⁴²¹竟〉

6 十誦律三誦⁴²²卷第十一⁴²³

7 皇后藤原氏光明子奉為

8 尊孝贈正一位太政大臣府君尊妣

9 贈從一位橘氏太夫人敬写一切經論

10 及律莊嚴既了伏願憑斯勝因奉

11 資冥助永庇菩提之樹長遊般若之津

12 又願上奉 聖朝恒延福寿下及

13 寮采共盡忠節又光明子自發誓言

14 弘濟沈淪勤除煩障妙窮諸法早契菩提

15 提乃至伝灯無窮流布天下聞名持

⁴¹⁸ (若) + 【大】

⁴¹⁹ (謂若) - 【大】 大正蔵に校注なし。

⁴²⁰ 復説也 || 説【大】

⁴²¹ (事) - 【大】

⁴²² (三誦) - 【大】 大正蔵に校注なし。「三」の右に「第一」(朱書)あり。

⁴²³ 一 || 四【大】 大正蔵に校注なし。「二」の中央に見せ消ち(朱点)あり、右傍に「四」(朱書)あり。

卷獲福消災一切迷方会帰覚路

天平十二年五月一日記

17 18 19 20 21 22

(後補軸付紙)

大正八年十一月修理之

帝室博物館総長 (医学博士 / 文学博士) 森林太郎 (花押)

董事 奈良帝室博物館長久保田鼎 (花押)